高松泉キリスト教会　ニュースレター
第 168 号（2024 年 2 月号）

いずみ

香川県高松市伏石町 2018-5
Tel & Fax 087-867-2302
http://izumichurch.holy.jp/
発行人　宮地　宏一

元旦に能登半島で起きた大きな地震で被災された方々、愛するご家族・ご友人を亡くされた方々の上に神様の慰めと励ましがありますよう、心からお祈りします。

我が家の次女（1 歳 10 ヶ月）は、1 歳半前から少しずつ単語を話し始め、今ではおしゃべり上手。日々、たくさんのことばを吸収しています。「やった～さいこう！」「だいすき」「おねがい」と話したかと思えば、夜中に突然、「たすけて～」「クッキー食べたい」と叫ぶことも。先日は、何の脈略もなく「おかあしゃん、おかね」と言い出し、度肝を抜かれました。これは子どもたちが良く言うことばですが、私も語ることばに気をつけなければと思わされました。

今月も皆様とご家庭の上に、神さまからの恵みが豊かに注がれますように。　(2024.02.01)

“スーパー父さん”からの脱却

冷蔵庫の奥にあるものを無理やり取ろうとしたら、手前にあった未開封の 10 コ入りの卵のパックを落としてしまった私。すると、すかさず妻が「私が変な置き方していたから。ごめんなさい」と言ったのです。突然の返しに驚きました。そして言い訳したり、妻を責める機会を失った私の口から出た唯一のことばが「何個割れた？」でした。

妻はすぐにパックを拾い上げ、割れた卵と割れていない卵を選別し、子どもたちは急いで雑巾を持ってきて床をふいてくれました。それから妻が「この卵で明日、二つケーキを作ろう」とおっしゃり、「やった～」と子どもたち。妻が作ってくださったケーキ、とても美味しかったです。

実は、これには伏線があります。クリスマスの夜の礼拝で、私はある本に載っていたお話しを紹介したのです。

ある町に二組の有名な家族が住んでいました。一組はいつも争う声が絶えない A さんの家でした。もう一組はその真逆で、いつも笑いの絶えない明るい B さんの家だったのです。

あるとき、A さんが明るく笑いの絶えない秘訣を教えてもらおうと、B さんの家を訪ねました。そうすると B さんはびっくりして「秘訣なんてありませんよ」と応じるのです。それを聞いて「イヤ、そんなことはない、何か秘訣があるはずだ」としきりに聞き出そうとします。

ですから B さんは「いや、そんなに難しいことではありませんよ、私の家には悪人ばかりが住んでいるのです」と答えると、「え！何ですって、悪人ばかりが住んでいる？冗談でしょう」と A さん。そんな彼に B さんは次のようなたとえ話しをしました。

「たとえば、妻が床に置いたコップを、私が誤って割ったとします。すると妻が『あら、ごめんなさい。コップをここにうっかり置いてしまって』と謝ります。すると私も『俺がちゃんと気をつけて歩いていれば良かったんだ。俺が悪かったよ』と。そうするとさらに妻が『何を言っているの。私が片付けておかなかったから、いけなかったのよ』と。このようにお互いに自分が悪かったと言い合い、みんなが悪人なので、私の家では争いがないのです」

そして最後にBさんは言います。「Aさん、あなたは明るく笑いの絶えない家庭になる秘訣を知りたかったのですよね。その秘訣は、私の家が悪人だらけで、悪人だけが住んでいるということかもしれません。そして あなたの家にはひょっとして、善人ばかりが住んでいるのではないですか」

「あなたの家にはひょっとして、善人ばかりが住んでいるのではないですか」この切り返し、すごいですね。私たちはどちらかというと自分のことを悪人ではなく、スーパーマンのように思い込んでいます。私もそうです。ですから卵をすべて落としたとき、自分の愚かさに失望したのです。そして素直に「ごめん」と謝れませんでした。

一方、妻はクリスマスでのお話しを聞いて、すぐに実践します。そんな柔軟な彼女の姿に対して、私は「素晴らしい」と感心したのではなく、正直「やられた！」と思ったのです。そして語りっぱなしで、生き方を変えられない自分が情けなくなりました。“スーパー父さん”としての挫折を味わったのです。

しかしながら妻も子どもたちも、私のことを“スーパー父さん”とは全く思っていなかったようです。「お父さんは間違えて、失敗して当たり前。それで良い」と。それなのに私だけがそんな自分を受け入れられず、あらがっていたのです。

さて私たちは不完全なものよりも、完全なものを求める傾向があります。また失敗したり、既定路線から外れることを恐れているのです。ところがこの世に存在するものの多くが不完全で、未完成です。スーパー主婦も、一流のスポーツ選手も完璧ではなく、欠けがあります。でも、だからこそ成長する余地が残されているとも言えるのです。

では成長するためには、私たちはどうすれば良いのでしょうか。それにはまず自分のありのままを受け入れること。これは結構、難しいですね。現実の自分と理想の自分との間に大きなギャップがあるからです。イエス様の弟子のペテロもそうでした。彼は自分が一番弟子だと自負していたのです。ですからイエス様にどんなことがあっても、たとえ他の弟子たちがイエス様から離れても、自分は最期までイエス様について行くことができると信じていました。

でもイエス様が多くの群衆によって捕えられたとき、彼はイエス様を見捨てて逃げてしまうのです。さらにイエス様を知らないと三度も言ってしまう。これはペテロにとって大変ショックな出来事でした。しかしイエス様はあまりショックを受けられなかった。なぜならペテロがご自分を裏切ることを事前に知っておられたからです。それだけでなくイエス様は彼のために、彼の信仰がなくならないように祈ってくださっていたのです。

同じようにイエス様は私たちがどんなに強がっても、弱く欠けだらけの存在であることをすべて知っておられます。その上で、私たちを愛し、受け入れてくださるのです。またイエス様は私たちのために祈ってくださいます。私たちが自分の弱さを認め、変えるべきところを素直に変えられるように。このイエス様の祈りによって私たちは日々、自らの過ちを認め、お互いに赦し合い、愛し合い、成長することができるのです。

心を新たにすることで、
自分を変えていただきなさい。

○ 礼　　拝	毎週日曜日 10：30～12：00
○ 祈 祷 会	毎週金曜日 10：30～12：00
○ イズミン・キッズ	毎週日曜日　9：30～10：20
○ おやこ de えほん	毎週水曜日 10：30～13：30
○ Friendly English	毎週木曜日 9：30～11：50（大人向け）